



F・グループ新人演奏会

# group joint recital

1977.5.23(月)7.00 p.m. 神奈川県民小ホール

主催 フエリス女学院短期大学音楽科同窓会  
後援 フエリス女学院短期大学音楽科

# 若い人たちへ

フェリス女学院短期大学

学長 佐藤 鑫

Fグループが、この3月に音楽科を卒業したばかりの、若い演奏家たちのために、演奏の機会を与えてくれたことを、心から感謝しています。これからちもたくさんの方々の可能性を秘めているこれらの若い才能たちを、暖かく見守ってやってください。

出演の皆さんにひとこといわせていただくとすれば、音楽社会のなかで、これからひとつひとつの経験をつみ、自分の音楽をつくりあげていくときに、つねに高いものを見つめてほしいものです。詩篇に〈われ山にむかひて目をあぐ〉という句があります。いかに努力をかさねても、どうにもならないようなこともあるでしょう。そのようなとき、われわれは虚無と隣りあわせにいるのですが、高いものに目を向けることによって、新しい道が拓けてくることを信じたいと思います。

## ごあいさつ

フェリス女学院短大音楽科同窓会

会長 大島君子

本日はお忙しい中をお出かけいただき、ありがとうございました。今日出演致します4人は、この春フェリス短大音楽科の研究生の課程を修了した、初の卒業生です。

音楽科では、かねてからの2年間の短大課程の上に、独自に1年間専攻科を設けて、充実した教育内容を研究してきましたが、昨年度から専攻科修了後更に1年間専門科目を勉強する、研究生の制度を創りました。第1回研究生には9人の方達が合格して、ウィーンのフェリス研修センターに留学するなど、有効な勉強を続けてまいりました。今日の出演者は、その内の演奏部門を優秀な成績で卒業した方達です。私共同窓会では、これらの若い方々を大いに声援し、活躍を期待するべく、このような新人演奏会を企画致しました。

今後、毎年続けて行きたいと思っておりますので、何卒よろしく御支援下さいますよう、お願い申し上げます。

# \*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

## I ソプラノ 横井 説子

ピアノ 吉田雅子

- 太鼓は響く、喜びに満ち悲しみに満ち,  
悲しみのよろこび、五月の歌 ..... ベートーヴェン  
ズライカⅡ ..... シューベルト  
演奏会用アリア K.V.486a.  
もうやめてあなたは勝ったのです。…ああどうぞ私をすてないで下さい  
..... モーツァルト

## II ピアノ 山田 真理子

- ソナタ 変イ長調 作品110 ..... ベートーヴェン

## III ピアノ 伊藤 直子

- 幻想曲 ヘ短調 作品49 ..... ショパン

## IV ソプラノ 山口直子

クラリネット 田中保人  
ピアノ 関口一美

- 「フィガロの結婚」より 愛の神よ照覧あれ ..... モーツアルト  
ガニメード  
岩の上の羊飼い ..... シューベルト



## ソプラノ 横井 説子

昭和51年 NHK新人演奏会、神奈川県新人演奏会、  
北九州市新人紹介演奏会に出演

昭和52年 西日本新人演奏会出演

三宅春恵氏に師事 現在 二期会研究生

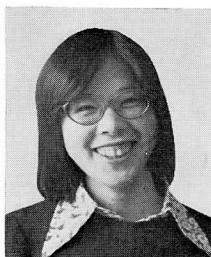
横井さんとは、フェリス女学院入学後の、4年間のおつき合いです。大多数の方々が、私の場合、高校生或は中学生の頃からお教える事が多いのです。

でも横井さんは、郷里の北九州で、小さい時から手ほどきを受けた先生が、昔の私の門下生であった方で、今ではそちらで、声楽家としてステージでも活躍し、優秀な生徒さんを世の中に送り出している方でしたので、大変好都合だったわけです。

小さい頃から音楽教室にも行っていた為に、ピアノも器用に弾け、ソルフェージも大変にいいとか、いろいろの方面的評判が良い様です。兎も角も彼女は天性恵まれた喉を持っていますが、それにも増して、人一倍の努力家である事と、大変なファイトの持主である事が、何よりの大きな長所だと信じています。

どの道でも同じ事だと思いますが、特に声楽家の場合、体の中に楽器を内蔵しているわけですから体力は重大な影響を持っている事は当然ですが、精神的なものも実に微妙に楽器のコンディションに関係して参ります。今まで、学生生活に於ては彼女は本当に本番に大変強い人でした。これからプロフェッショナルの世界に於ても、益々その長所を活かして世の中にチャンスを得て踊り出て頂き度いものとねがっています。

## 三宅 春恵



## ピアノ 山田 真理子

昭和51年 神奈川県新人演奏会出演

三宅洋一郎、田中直子両氏に師事

現在 フェリス女学院短大音楽科実習助手

山田真理子さんは、フェリスでの4年間、ひたすらピアノと取り組んできました。どう考えても、器用とはいえない彼女が大変な努力を積み重ねてきたのは事実です。ですから4年前の入学の頃を思い起すと、目覚ましい進歩を遂げたといって間違ひありません。しかし、本当の意味での進歩は今後の将来にあると期待しています。

真理子さんは素朴で純粋です。彼女の音楽のなかに、ドラマティックな表現の盛り上りを求めるのは、今のところ難しいとしても、純粋な音楽の美しさ、こころの歌を見出して頂ければ幸いです。その純粋さは、決して冷たいものではなく、非常に暖かいものを感じさせてくれます。それは音楽の本質にも通じる要素でもあるわけです。

## 三宅 洋一郎



## ピアノ 伊藤直子

昭和51年 読売新人演奏会、神奈川県新人演奏会に出演  
市丸敏子、福井直俊、辛島曜子の各氏に師事  
現在 山手音楽教室講師

伊藤直子さんとのお付き合いは、彼女がフェリスに入学する1年前から今日迄、もうかれこれ5年になります。見掛けは小柄で、大人無しそうですが、音楽には大変意欲があり、しっかりした考えを持っている人です。豊かな音楽性と知性に恵れ、其の上、人一倍努力家でありますので、入学してから卒業迄の進歩は目覚ましいものでした。専攻科修了演奏ではショーベルトの作品78ト長調のソナタを演奏し優秀な成績を修めました。

貪欲なまでに何でも巾広く吸収し、勉強していく態度も立派なもので、現在ソロの他に声楽の伴奏等も随分沢山勉強している様で、更に、内面的にも成長していく事でしょう。

これから、ますます多くの場を踏んで、演奏に磨きをかけて欲しいと願って居ります。

## 辛島曜子



## ソプラノ 山口直子

昭和51年 神奈川県新人演奏会出演  
太田和男、牧野 統、倉長治子の各氏に師事  
昭和51年 7~9月ウィーンに渡り、ウィーン国立音大  
のエギリス・ドッティール教授に師事

専攻科卒業後、更にはじめての研究生として1年の勉強をつづける事が出来たこと、そしてやはり、はじめてウィーン研修センターで学ぶことが出来たことは、大変幸せなことでした。その間の山口さんは、決して力むことなく構えることなく、ごく自然な流れの中でゆっくりと、ゆったりと音楽を育んで来ました。

山口さんの歌の持ち味から感じられるものは、きらびやかな華やかさといったものではなく、穏やかで、ほの暖たかい優しさの様なものです。この持ち味を生み出しているのは山口さんの歌に対する素直さにあると思います。わざとらしさがありません。決して無理をして声を創ったり、歌を形づけるようなことをしないので、その歌の本来の持っている心に謙虚な姿勢でのぞみ、濃やかな配慮を尽して、彼女自身がそこから感じたものを大切にしているからだと思います。

この与えられたよい機会を一步として、これから精進を楽しみに致しましょう。

## 倉長治子



**YAMAHA**

横浜駅西口

**日本楽器横浜店**

横浜市西区南幸2-15-13

TEL (311) 1201 (大代表)